

2014年度 第5回 国際保健協力研修

Reproductive Group

Makino Asakawa、Yuka Onishi、Hanna Horiguchi、Takahiro Nakamura
Hiroko Yamazaki、Kazuyuki Wakamatsu
Yuta Yokobori、Ito Tomoo
フィさん

2014/10/03

ベトナム・ホアビン省の母子保健の背景

- ・新生児死亡率

ベトナム: 12／1000人(2012年)(年)

ホアビン省: 6.2人／1000人中(2013年) 早期新生児死亡率: 5人／1000人

- ・年ごとに変動が大きく、ベトナム全体の平均を超えることもある。
 - ✓山岳地帯75%→医療機関アクセス困難
 - ✓郡病院に小児科医がいない。
 - ✓妊婦へのサポート体制は充実しているが、
新生児死亡率の明らかな改善がない

ホアビン省では、新生児死亡率を改善することが重要な課題である。

新生児死亡率が高い要因

A アクセスの問題

B 治療の質の問題

C 母・家族の問題

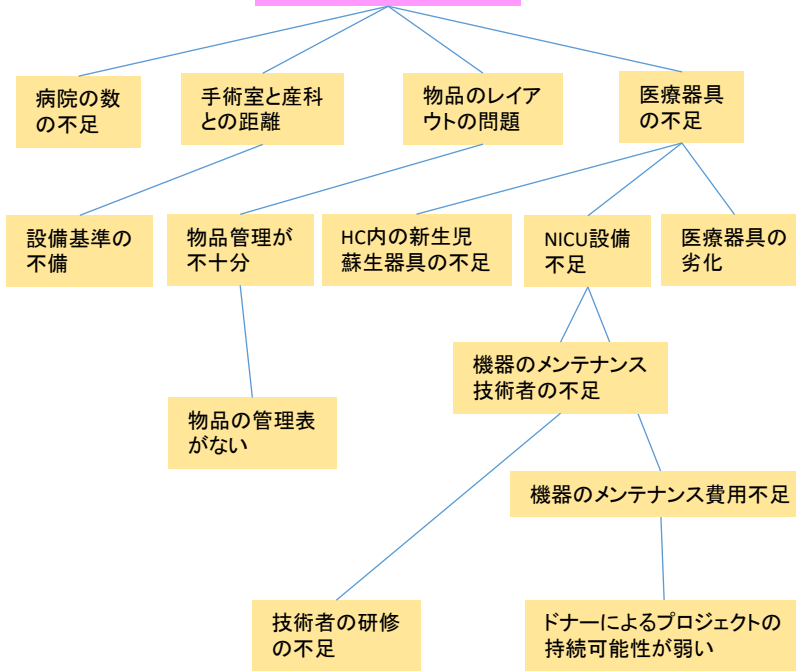
予定のインプット

5年間のプロジェクト

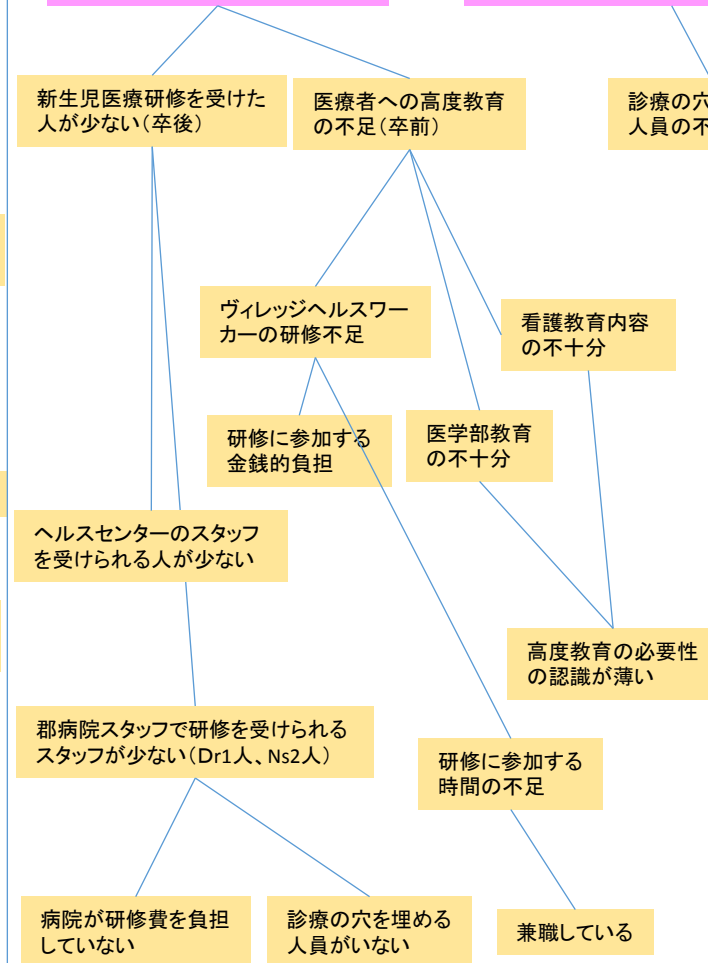
実施者：保健省、ホアビン省

B 治療の質の問題

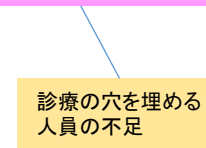
施設、設備の問題



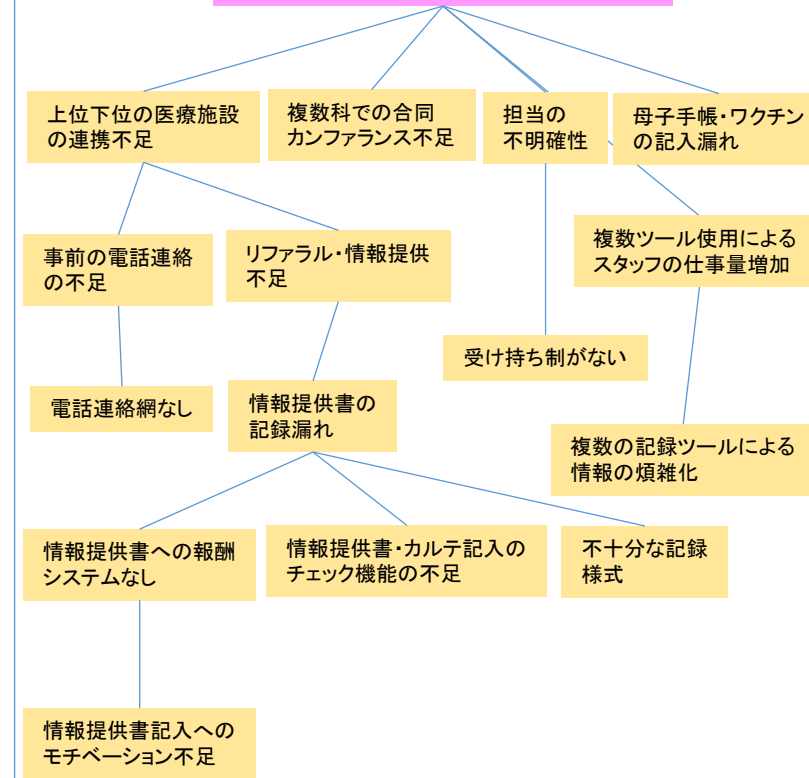
医療スタッフの技術不足



周産期医療スタッフ数の不足

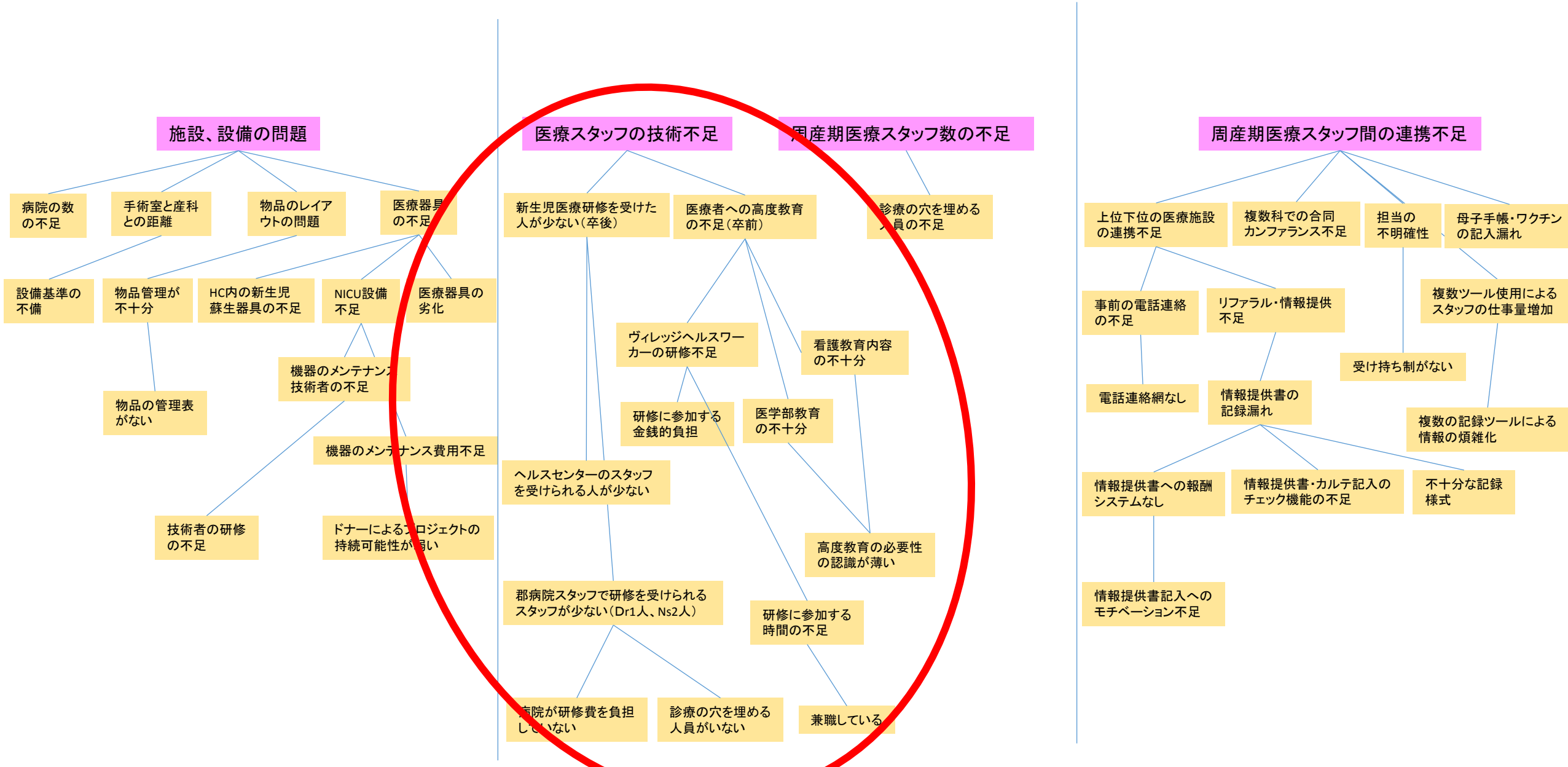


周産期医療スタッフ間の連携不足



アプローチの比較					
	実現可能性	有効性	効率性	自立継続性	緊急性
①新生児医療の施設・設備の充足	×	○	△	○	△
②新生児医療スタッフの技術充足	△	◎	○	△	○
③新生児医療スタッフ数の充足	×	○	△	○	×
④十分な連携	○	△	○	○	△

B 治療の質の問題



中心問題

医療スタッフの技術不足

同職種で学びあう仕組みが
不十分

新生児医療研修を受けた
人が少ない(卒後)

医療者への高度教育
の不足(卒前)

郡病院スタッフで研修を受けられる
スタッフが少ない(Dr1人、Ns2人)

ヘルスセンターのスタッフ
を受けられる人が少ない

ヴィレッジヘルスワーカーへの
研修不足

医学生への新生児
医療教育が不十分

看護学生への新生児
医療教育が不十分

病院が研修費を負
担していない

診療の穴を埋め
る人員不足

研修に参加す
る金銭的負担

研修に参加す
る時間の不足

新生児医療教育の必
要性の認識が薄い

兼職している

目的分析

医療スタッフへの技術の充足

同職種で学びあう仕組み作り

新生児医療研修を受けたスタッフが充足している

医療系学生への卒前新生児教育を充足させる

十分な人数が研修を受ける事ができる

ヘルスセンターのスタッフが十分に研修を受けられる仕組み作り

ヴィレッジヘルスワーカーの十分な研修

医学生への新生児医療教育の充実

看護学生への新生児医療教育の充実

郡病院が研修費用を負担しなくてもよい仕組みがある

診療の穴を埋める人員不足

研修に参加する金銭的サポート

研修に参加する時間の確保

新生児医療教育の必要性の認識の高まり

専門のヴィレッジヘルスワーカーの増加

プロジェクトの要約	指標(3個以下)
プロジェクト目標: 新生児医療スタッフの技術が充実している。	
成果及び活動 成果1: 新生児医療研修を受けたスタッフが充足する仕組みを作る 1-1: 新生児蘇生研修を郡の小児科と産科の医師と看護師・助産師の約三分の二が受けることができる。例えば金銭的な面では、研修費用を妊婦(家族)から一律に集め(少額)、プールし、研修費用を継続的に集める持続可能なシステムを構築する。 1-2: ヘルスセンターのスタッフが全員に新生児ケア研修を受けることができる。1-1と同様に金銭的な仕組みを導入する	1-1: 新生児蘇生研修を郡の小児科と産科の医師と看護師・助産師の約三分の二が受けることができる。 1-2: ヘルスセンターのスタッフが90%に新生児ケア研修を受けることができる。
成果2: 医療系学生への卒前教育を充足させる。 2-1: 医学生への新生児医療が充実している。 2-2: カリキュラムの再構築、看護教員の育成、国家資格の導入を通して看護学生への教育	カリキュラムが改定される。新生児に関わる医師数が増える。 カリキュラムが改定される。国家試験が導入される。教育者が増える。
成果3: 医療スタッフがお互いに学びあう仕組みをつくる 3-1: 群病院内での勉強会を定期的(月1回程度)に行う 3-2: ヘルスセンター内での勉強会(シミュレーション)を定期的(月1回程度)に行う。	3-1: 群病院内での決めた回数の勉強会を実施。(月1回)。 3-2: ヘルスセンター内での決めた回数の勉強会(シミュレーション)を実施。(月1回)。

まとめ

現在、ホアビン省での基礎的な医療保健は充足しつつある

ホアビン省での新生児死亡率を下げる

新生児医療の治療の質を改善させる

新生児医療スタッフの技術が充足している

新生児医療研修を受けるスタッフが充足する仕組み

医療系学生への新生児教育の充足

お互いに学びあう仕組みの作成

新生児医療の強化



ベトナム医療の発展



ご清聴ありがとうございました！

2014 10 01